

第 23 回英語オーラルインタープリテーションコンテスト募集要項

The 23rd Nanzan Junior College English Oral Interpretation Contest

■主催

南山大学短期大学部，学生支援プロジェクト「ベタニア」

■後援

愛知県教育委員会，名古屋市教育委員会

■協賛

株式会社紀伊國屋書店

■協力

南山大学 English Speaking Society (E.S.S.)

■開催趣旨

南山短期大学（当時）は，1995 年に高校生を対象とした第 1 回大会を開催しました。以来今日までに，名古屋市をはじめ愛知県や他県の中学生・高校生も参加する大会となりました。本大会は英語教育の音声表現分野では唯一の大会であり，開催を通して，生徒の英語解釈力・表現力がさらに向上することを切に願います。

■昨年との主な変更点

- －各学校につきエントリーは 1 組 1 発表とします。
- －審査は中学校・高等学校で別に行います。
- －団体発表によるコンテストのみとします（エキシビションに関しては後段の「発表参加枠」欄をご参照ください）。**※9 月 18 日（月）付けでエキシビション部門の実施が決定しました。詳しくは、別紙「エキシビション部門 参加者募集のご案内」をご参照ください。**
- －応募は 2 段階に分けて行います。

■応募資格

日本の中学校・高等学校に在学する者。過去に参加された方，受賞された方も応募可能です。

■団体発表によるコンテスト形式

1 つの作品を 2 人以上で読み上げるもので，4 分以内の作品または作品の抜粋を選び，読み手の解釈にしたがい音声表現します。なお作品については，後段の「応募に際しての注意点とお願い」欄をご参照ください。

■日時

2017年11月18日(土) 9:30開会～16:00閉会(予定)

※閉会後に、参加者と引率の先生方との交流会を学内カフェテリアにて予定しています。

■会場

南山大学名古屋キャンパス R棟1階 フラッテンホール(入退場自由・無料)

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

交通アクセス <http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>

(地下鉄名城線「八事日赤」駅より徒歩8分)

■応募方法(変更あり)

1. 初回エントリー(第1段階)

期間 2017年9月11日(月) 7:00～9月17日(日) 23:00

エントリー期間と時刻をお守り頂けないと受付できないことがあります。

方法 件名を「OIC申し込み(参加学校名)」として、①参加予定者数、②ご担当者様名、③ご連絡先のみを、以下のメールアドレスに送信してください。(様式自由)

送信先メールアドレス: kokosei-oralinterp@nanzan-u.ac.jp

*参加枠は昨年度までより多い、およそ30組を予定していますが、応募多数の場合は申込先着順とさせていただきます場合があります。可能であれば早めにエントリーをお願いします。

*初回エントリー締切後、9月20日(水) 17:00までに参加の可否をメールにてお知らせいたします(メールが届かない場合のみ、電話連絡をしてください)。

2. 確定エントリー(第2段階)

期間 2017年9月21日(木) 7:00～9月30日(土) 23:00

方法 参加可能メールを受け取っている場合は、この期間に下記URLより受付フォームのWebページに進んでいただき、画面の指示に従って、参加者全員の名前、発表作品名など詳細の申し込みを完了してください。なお、こちらのURLは9月21日(木) 7:00までアクセスできません。

申し込みURL: <https://regist.nanzan-u.ac.jp/regform/regist/tandai/2017OIC>

*この受付フォームは、ご記入内容を全て確定させてお申し込みください。空欄及び締切後の内容変更は受け付けかねます。

■発表参加枠(変更あり)

各学校代表1組による1発表のみとします。中学校・高等学校併設校は各1組が可能です。なお、参加者少数により複数校合同で1つのチームとしての参加は可能です。

~~今年度はエキシビションを現時点では予定しておりません。但し、コンテスト参加校が確定後、発表枠にゆとりが生じた場合は、エキシビションを実施する可能性があります。その際は従前通りに個人・団体ともに募集することがあります。詳細は9月21日(木)頃までにWebページにてお知らせします。~~ **※9月18日(月)付けでエキシビション部門の実施が決**

定しました。詳しくは、別紙「エキシビジョン部門 参加者募集のご案内」をご参照ください。

■応募に際しての注意点とお願い

- ・参加校による創作・翻訳作品は不可とします。出版社から出されている原著の縮約版（retold 版）などは可能ですが、必ずその旨を明記してください。またさらにその縮約版を制限時間に見合うように短縮する場合は、著作権保護の観点から参加校の責任において原作を損ねないよう配慮をしてください。この点について主催者は一切の責任を負いません。
- ・制限時間を超えた場合は、減点対象となりますのでご注意ください。
- ・本大会の入賞者発表や演技中の様子は、南山大学の入試広報関係資料や公式 Web ページ、公式 Facebook に参加者の学校名、学年、氏名、写真、映像とともに掲載されることがありますので、予めご了承ください。また、当日は報道機関を招待しています。参加者の氏名等が報道されることもありますので、あわせてご理解いただきますようお願いいたします。

■発表に際しての注意点とお願い

- ・オーラルインタープリテーション

南山短期大学名誉教授近江誠によれば「作品音声解釈表現法」と呼ぶべきもので、一般的な演劇とも暗記・暗唱とも異なります。その定義は複数ありますが、Charlotte I. Lee & Timothy Gura の定義を引用すれば、" [Oral] Interpretation is the art of communicating to an audience a work of literary art in its intellectual, emotional, and aesthetic entirety. " (*Oral Interpretation*, 9th Ed., p.3)とあります。生徒さん向けには「物語など書かれたものに込められた作者のメッセージを読み取り、自分なりに解釈して、感情を交えて聴衆に音声で伝えるコミュニケーションの方法」と換言できるでしょう。

実際の発表では、感情表現を有効化するためにジェスチャーや表情などの身体の一部を利用します。また演出として補助的に身体の動作を利用することもあります。本学では発表用に黒い箱状のものを用意していますが、それ以外には衣装、大道具、小道具は使用しません。また肉声による発表を大切にします^注。これらのことは発表が聴衆の想像力に訴えることを旨とすることからも明らかです。この点で一般的な演劇とは異なります。

注、何らかの事情により、肉声発表が困難な場合はご相談ください。

団体による発表では、読み手は聴衆に向かって話しかけます。演劇のように舞台上で互いに顔を見て演技することはありません。読み手は声を合わせて聴衆にメッセージを伝えます。その際に手に持ったスクリプトを読み上げても、または見ないで暗唱してもどちらでも構いませんが、暗記の再現を目指す読み方は避けます。しっかりとした英語音読が発表の基本であることを指導の際の参考にしてください。

・審査基準

各発表は、解釈とプロソディー（発音・抑揚・リズム・声の大きさなどの音声面）に関して審査します。

- －作品に込められたメッセージをきちんと読解しているか。
 - －読み手は、作者になり代わってそのメッセージを伝えようとしているか。
 - －音声表現のための英語のプロソディーは正確であり、内容にふさわしいものか。
 - －読み手は全員が一つにまとまり、聴衆に好印象を与えているか。
- 以上を総合的に審査します。

■表彰（変更あり）

中学校 1位, 2位, 3位 および審査員賞

高等学校 1位, 2位, 3位 および審査員賞

■ご案内

本学講師が学校に出張し、直接生徒の皆さんにレクチャーすることも可能です。但し、出張期間は限られますので早めにご相談下さい。場合によってはご要望にお応えできないこともございますので、ご了承ください。 **※今年度の出張授業は募集を締め切りました。**

■お問合せ

第23回英語オーラルインタープリテーションコンテストについて

短期大学部合同研究室（平日9:00～17:00）

電話：052-832-3111（代表）

メール：kokosei-oralinterp@nanzan-u.ac.jp

第23回英語オーラルインタープリテーションコンテストに関する情報は、短期大学部ホームページに随時掲載しますのでご覧ください。

<http://depts.nanzan-u.ac.jp/ugrad/tandai/contest/>

過去にいただいたご質問に対する回答は、以下をご参照ください。

<http://depts.nanzan-u.ac.jp/ugrad/tandai/contest/news.html>